

I 学習の様子

【課題の設定】11月

- ・現場実習に関する資料の調査及び進路担当者へのインタビューの結果、卒業生の多くが様々な困難を感じていることが明らかになった。
- ・こうした調査の結果を基に、ワークシートを用いて自己の課題を整理した。
- ・各自がまとめたワークシートを交流し、就労後に起こり得るトラブルや困りごとについて検討するとともに、それらが生じた場合の対応を考えることを探究課題として設定した。

【情報の収集】12月

- ・インターネットでの調査を通して、卒業後には相談支援機関を活用することが重要になることに気付いた。
- ・紋別市内の相談支援事業所を見学した際、職員に自己の課題について質問し、その回答を記録した。また、その課題について模擬相談を行い、実際の相談を想定した体験を行った。

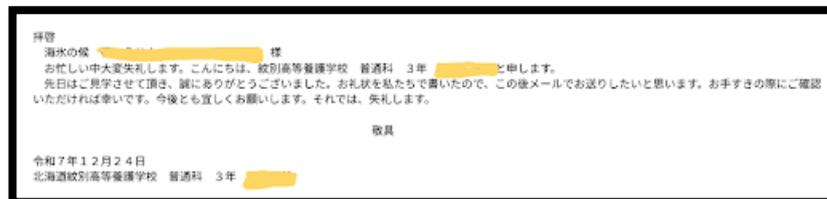


【整理・分析】12月

- ・相談支援事業所の職員からの回答内容について、「理解できたこと」、「初めて気付いたこと」、「さらに調べてみたいこと」に整理し、プリントにまとめた。

【まとめ・表現】12月

- ・プリントにまとめた内容を互いに発表し合い、各自の課題の解決に向けた方策を検討した。さらに、その内容を相談支援事業所の職員にメールで報告した。



生徒が生成AIを活用してメール文を作成

II 探究活動の成果

- ・生徒が設定した自己の課題に対する解決の方策を見出したことにより、学習前後で考えに変化が生じたことを実感することができた。
- ・メールの文章として表現することで、新たな表現方法を身に付けることができた。
- ・地域の相談支援機関と連携したことで、その役割や機能に関する理解を深めることができた。

III 今後に向けて

- ・短期間での学習となったため、年間指導計画の中で系統的に実施する必要がある。
- ・様々な調査方法の体験を通して、生徒自身でより効果的な方法を見出せるよう、単元の構成を工夫する必要がある。